



## 子供が売られない世界をつくるために NPO 法人かものはしプロジェクト共同代表 村田 紗耶香様

私共は、カンボジアとインドで「子どもがだまされて売られる」問題をなくすために活動しております。本日はカンボジアとインドの状況と、かものはしプロジェクトの活動の紹介をいたします。

この活動は、私が19歳のときに児童買春の問題と出会ったことが始まりです。大学2年生のときに授業で子どもが売られる問題について初めて知りました。それは、東南アジアに住む15歳の女の子が貧しさのため、強制的に売られ感染症にかかり亡くなったという話で、亡くなる間際に「学校へ行って勉強してみたかった」と言って亡くなったそうです。彼女と私との違いは生まれた場所が違うということだけであり、それだけで未来を選べずに苦しんでいる人が世界にはいるという事実を知り、私は自分の目で確かめるため現地に行ってみようと思いました。

19歳の夏休みに私は初めて発展途上国に足を踏み入れました。滞在中、私は児童買春の被害者を保護している施設を訪問しました。施設の庭で5歳くらいの子どもが遊んでいるのを目にし、私はてっきり施設の職員の方の子どもだろうと思いました。しかし、あとでそこにいた子どもはすべて被害者であったということを知り、幼い子どもを含む多くの被害者がいる事実には衝撃を受け、何とかこの状況を変えたいと感じました。

私は帰国して自分にできることを探し、世界各国の児童買春問題について書かれた本を片っ端から読みあさりました。そして2001年、私が途上国へ行ったちょうどその年に第二回の「児童の性的搾取に反対する世界大会」が横浜で開催されようとしていました。そこでは、日本をはじめとする世界各国の子どもと若者を招待するプロジェクトがあり、この会議の正式な参加者になると、自国の外務大臣や法務大臣に自分たちの訴えを聞いてもらえることも知り、会議に参加しました。寝る間を惜しんで勉強し、会議参加者と話し合い最終文書を作りました。この文書は後に国連文書となり、世界中の人たちが見られるようになりました。しかし、会議を終えてみると、国内行動計画を作る約束などの具体的な期限は決まっておらず、問題自体の解決に本当に役に立っているのか分からない寂然としない思いに悩まされ、自分でやるしかないのではないかと思いはじめました。

そんなとき、自分の人生の転機になる仲間との出

会いがありました。この仲間から「社会的起業」という、社会問題を事業的に解決する起業方法を教えてもらったのです。そして、私はこの仲間と共に2002年にかものはしプロジェクトを発足しました。

「かものはしプロジェクト」は、子どもが売られないように活動しているNPOです。2002年に団体を立ち上げ、2019年で17年目になります。児童労働の中でも、特に子どもの心と体を傷つけるこの問題は、最悪の児童労働と言われています。私たちは、ただ支援をするだけではなく、事業として持続的・発展的に子どもたちを守っていかなければならないと考えています。

1990年代から、子どもの被害者が急激に増えていたカンボジアで、「子どもを買わせない・売らせない」ように活動をしています。

子どもを買わせないために、警察が加害者を逮捕するよう、UNICEFとカンボジア政府と協力し、警察官への訓練に資金を提供しています。法律が改正されても地方の警察には情報が提供されていなかったり、証拠を押収する知識がないために裁判を起こしても無罪になってしまったりという状況がありました。ですが、これらの活動を進めてきた事により、加害者や売春宿の摘発件数が増加しています。また、子どもを売らせないためにカンボジアのい草で生活雑貨をつくる工房を運営し、貧しい家庭の大人に就業の場を提供することで、子どもを売り渡すことを未然に防いでいます。

また、状況が改善してきているカンボジアでの活動を進めながらも、現在はインドにも展開をしております。

ここまでご支援頂いている方々のおかげで約17年間活動をすすめることができています。

もし活動にご共感頂き応援して頂ければ幸いです。

閉会点鐘

奥山 聡会長

創立/1993年10月13日(平成5年)  
事務局/〒102-0073 東京都千代田区九段北 1-2-2  
グランドメゾン九段 906号 <http://tokyo-orc.jp/>  
Tel: 03-3288-7300 Fax: 03-3288-7400  
E-mail: ocha-rc@sirius.ocn.ne.jp

例会日 毎週水曜日 12:30~13:30  
例会場 ホテルグランドパレス Tel: 03-3264-1111  
会長 奥山聡 幹事 山下憲男  
会報委員長: 高山  
委員: 青木 岩佐 笠原 俣野 岡田 岩佐